



衛星通信及び放送サービスの現状 並びに当社における電波監視について

2025年8月5日

スカパーJSAT株式会社



1. 放送及び衛星通信サービスの現状について
2. 当社における電波監視について



1. 放送及び衛星通信サービスの現状について

スカパーJSATグループの沿革



宇宙事業



メディア事業

スカパー!

1985

日本通信衛星(株)

(株)サテライトジャパン

宇宙通信(株)

1993

(株)日本サテライトシステムズ

1994

1995

1996

1998

2000

J S A T(株)

東京証券取引所第一部上場

2007

経営統合 | 持株会社であるスカパー J S A T(株)設立 | 東証一部上場

2008

持株会社社名変更 | (株)スカパー J S A Tホールディングス
スカパーフェクト・コミュニケーションズ、J S A T、宇宙通信が合併し「スカパー J S A T(株)」誕生

2022

2022年4月 東京証券取引所 プライム市場へ移行



パーフェクTV!企画会社

日本デジタル放送サービス(株)

ジェイ・スカイ・ビー(株)

日本デジタル放送サービス(株) (サービス名 スカイパーフェクTV!誕生)

(株)スカパーフェクト・コミュニケーションズ

東京証券取引所マザーズ上場
その後一部へ市場変更

宇宙事業

衛星通信

アジア最大級・国内唯一
35年の運用実績



衛星保有機数

17機

(2024年3月末時点)

メディア事業

有料多チャンネル放送

日本最大級のチャンネル数
放送/配信ノウハウ

スカパー!
加入件数 約274万件

(2024年3月末時点)

(2024年度通期実績)

■…宇宙
■…メディア

連結営業収益



連結営業利益



連結当期純利益



※親会社株主に帰属する当期純利益構成比は、セグメント間取引および調整額を含んでいます

スカパーJSATの宇宙事業領域

1. 静止衛星 (Geostationary Orbit : GEO)

静止軌道(GEO)
36,000km



- 通信衛星 (CS / Communications Satellite)
- 放送衛星 (BS / Broadcasting Satellite)

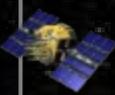
スカパーJSATの事業領域

- 気象衛星 (例 : ひまわり)



2. 中軌道衛星 (Middle Earth Orbit : MEO)

中軌道(MEO)
5,000~10,000km



- GPS衛星 (Global Positioning System)



3. 低軌道衛星 (Low Earth Orbit: LEO)

低軌道(LEO)
350~2,000km



- 地球観測衛星 (リモートセンシング衛星)

スカパーJSATの事業領域

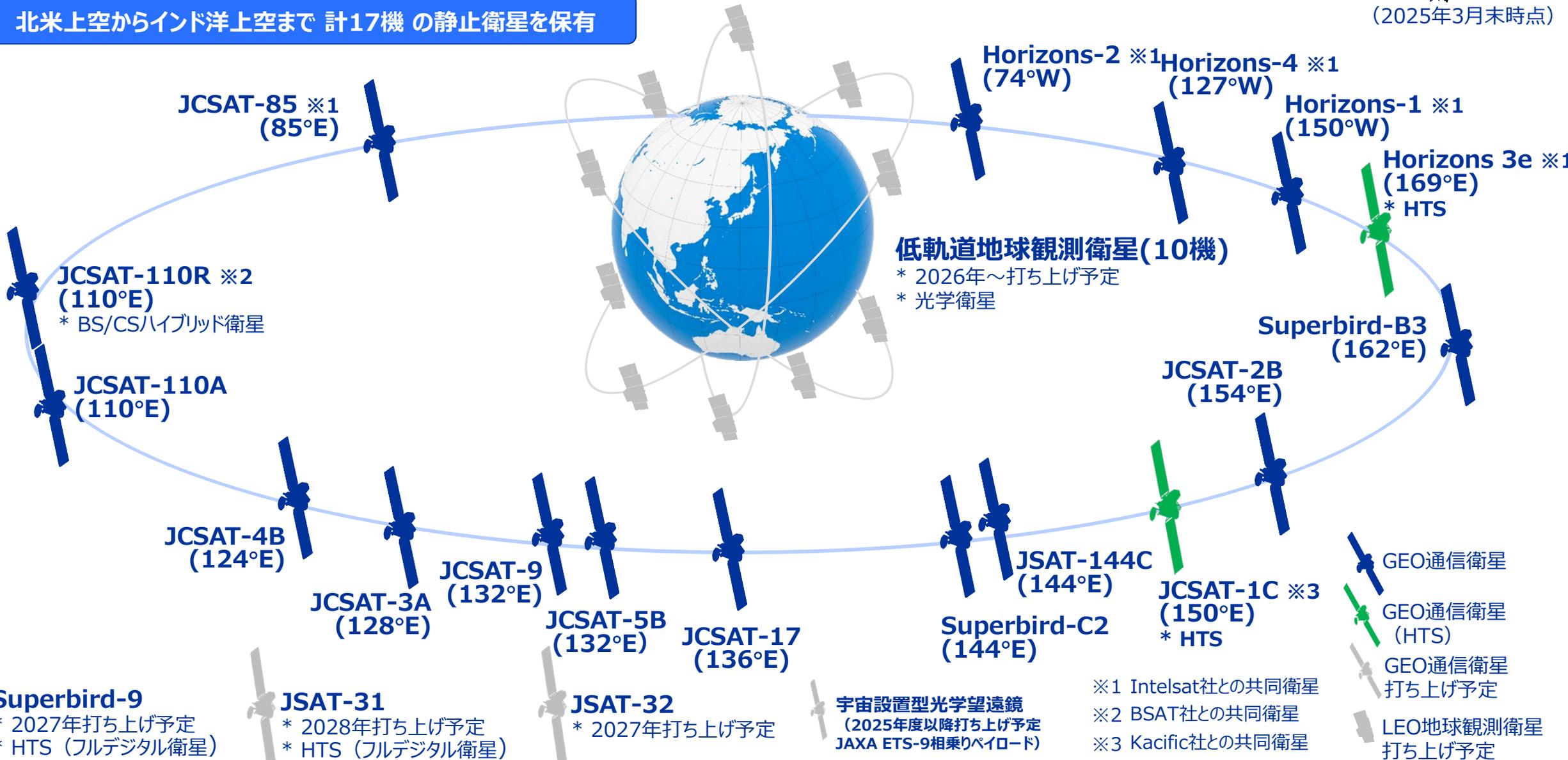
- 通信衛星
- 国際宇宙ステーション

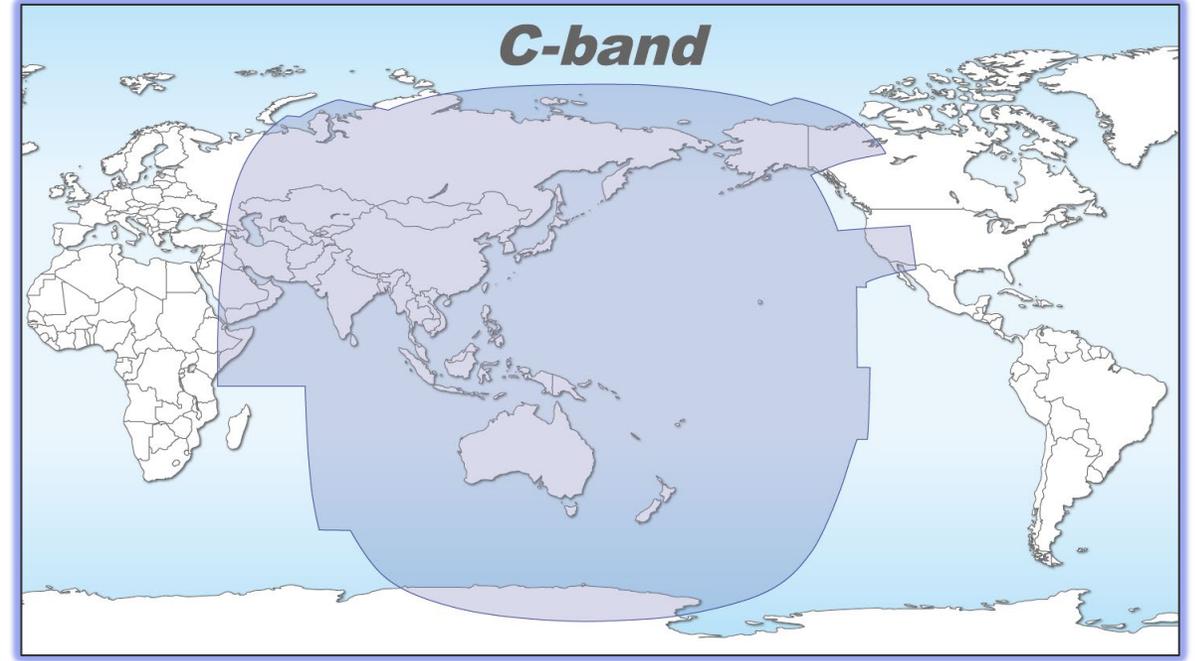
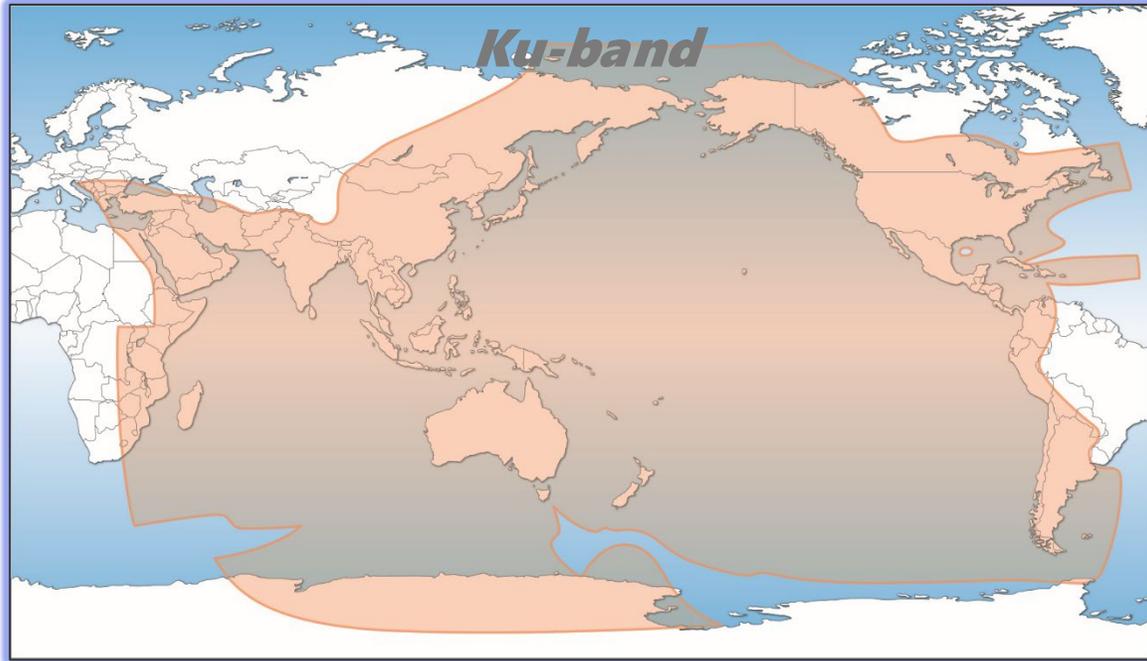


衛星フリート図

北米上空からインド洋上空まで 計17機 の静止衛星を保有

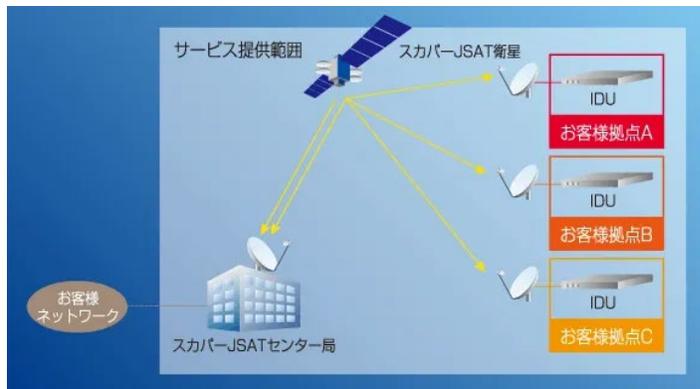
(2025年3月末時点)





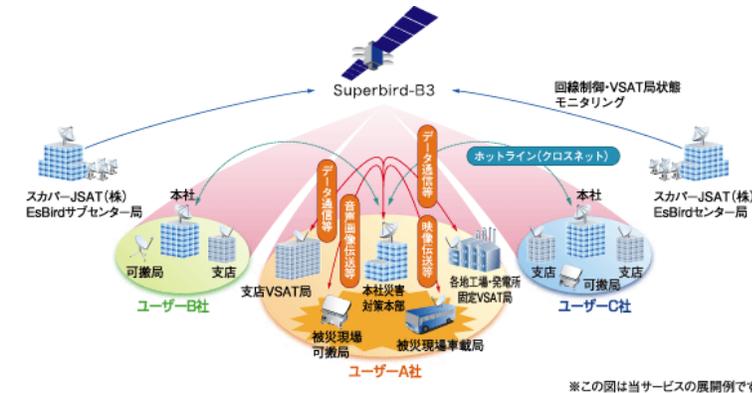


ExBird (衛星IPネットワークサービス)



災害時でも、地上回線未整備エリアでも、インターネットや音声通信が使えるサービス

EsBird (防災衛星プラットフォームサービス)

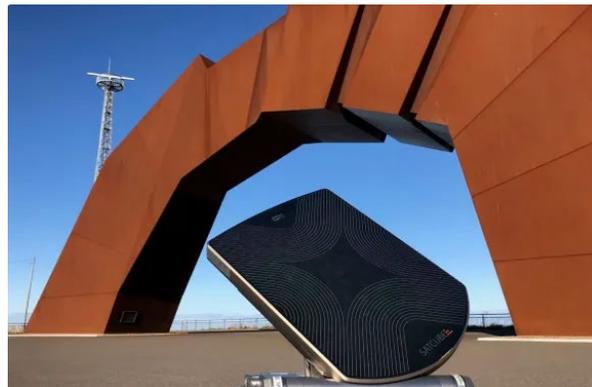


当社テレポートサービスでは直営サービスと送出サービスを含め、30弱のサービスを運用

災害時の重要通信回線を確保防災通信に最適なワンストップサービスを提供

※この図は当サービスの展開例です。

Sat-Q (IP映像伝送サービス)



超小型軽量の端末を用いてベストエフォート回線を提供するIP映像伝送サービス

JSATMarine (海洋ブロードバンドサービス)



世界最高クラスの船舶通信で船舶IoTやビデオ会議を快適に



静止衛星を活用した衛星放送事業をはじめ、配信事業、FTTH事業、メディアソリューション事業などを展開

放送事業

1996年に国内唯一のCS放送として「PerfecTV！」を開始

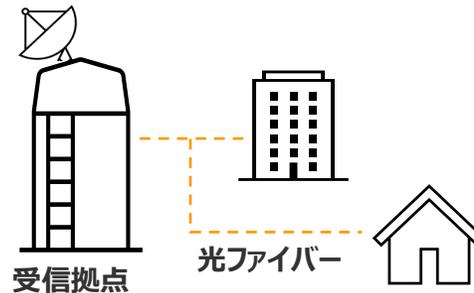
現在は **スカパー!** として国内最大級の有料多チャンネル放送を提供

配信事業



有料動画配信サービス
「SPOOX (スピークス)」を提供

FTTH*事業



地上波やBS/CSなどの放送を
光回線を経由してお届けする
再送信サービスを提供

メディア ソリューション事業



コンテンツの集配信・加工・制作
が出来る環境を提供して
放送事業者様の課題を解決



2. 当社における電波監視について

国内の電波監視拠点

副局：山口ネットワーク管制センター
(SPW : Space Port West)
山口県山口市



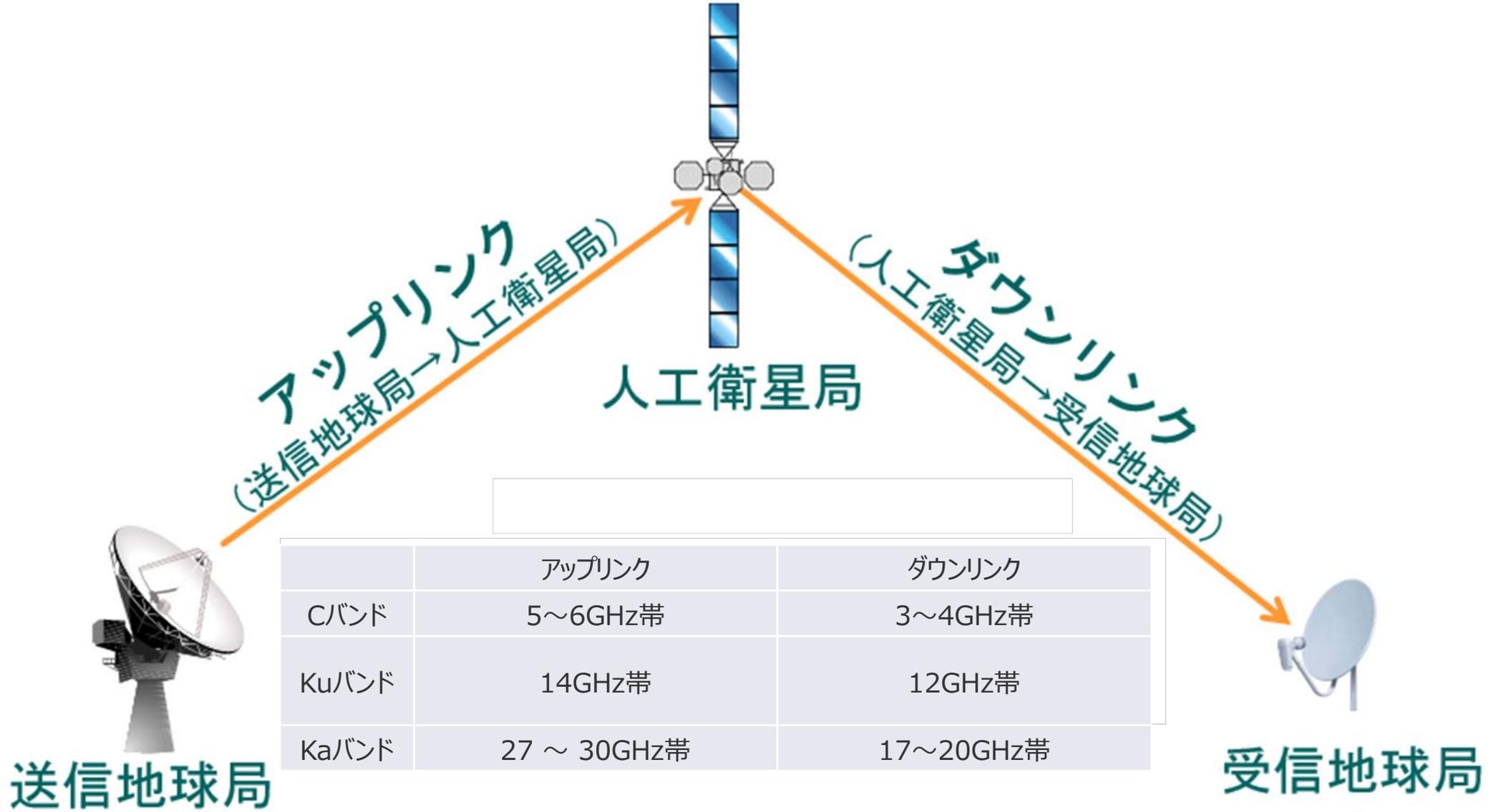
副局：茨城ネットワーク管制センター
(SPE : Space Port East)
茨城県常陸大宮市



主局：横浜衛星管制センター
(YSCC : Yokohama Satellite Control Center)
神奈川県横浜市



当社静止衛星でサービスに供する周波数帯を監視対象としている

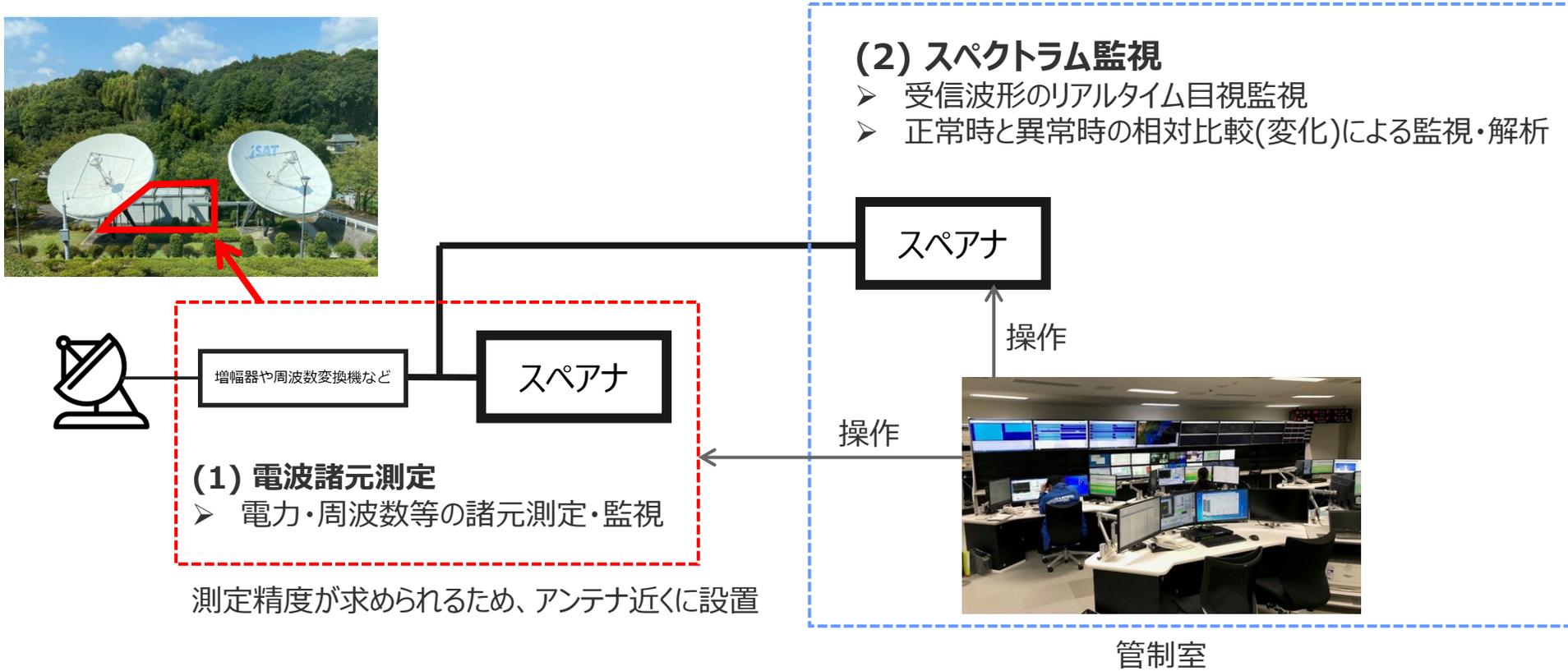


送信地球局

受信地球局



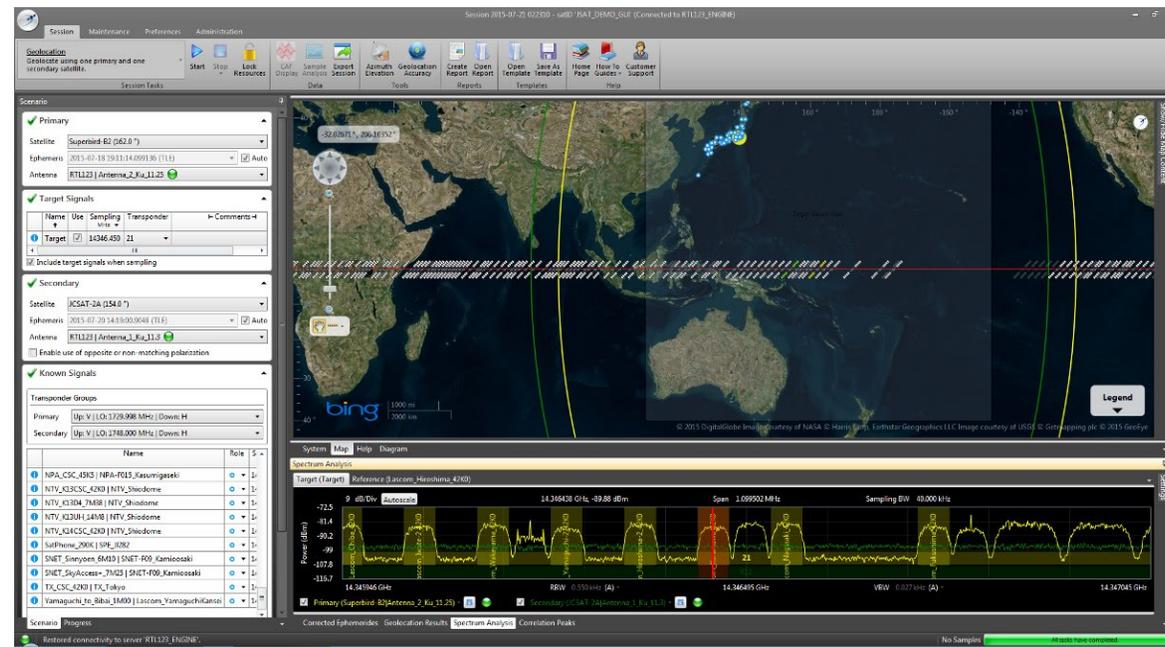
電波監視においては、(1)電波諸元測定と(2)スペクトラム監視を併用し、用途により使い分け



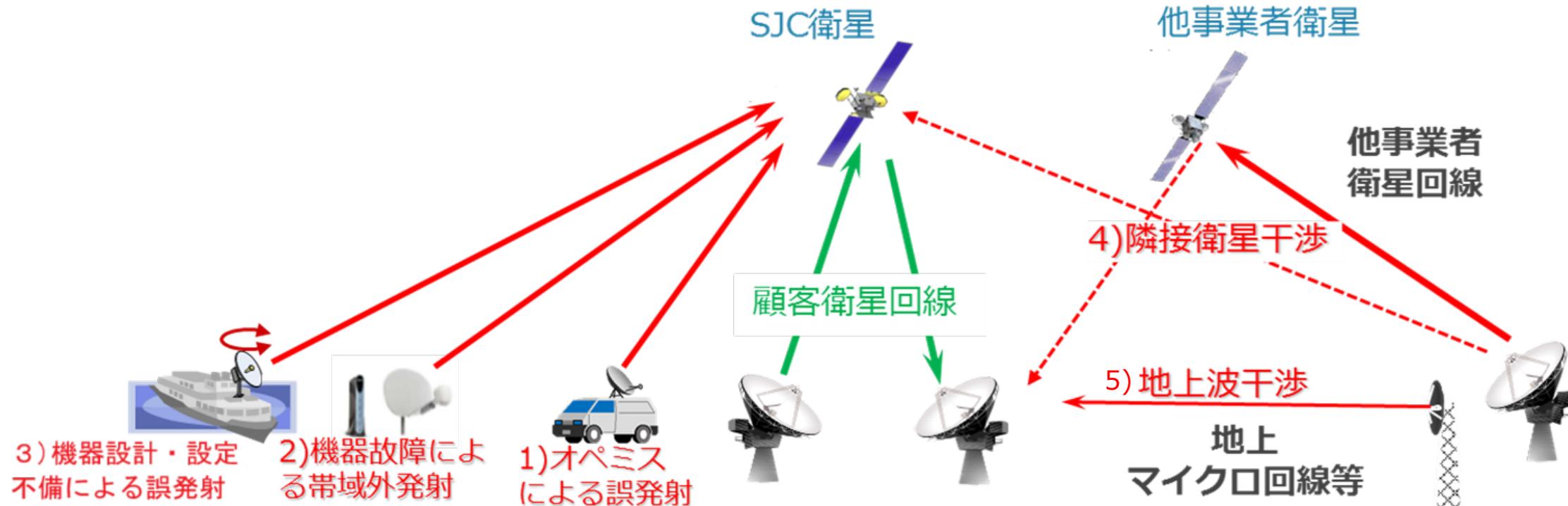


□ 干渉波発射源特定システム（Geolocation System）

- 干渉波の発射源位置の特定に用いるシステム
- 2衛星、2アンテナの信号を用いて干渉波発射源エリアを推定する
- 測定条件を満足した場合、不明波の発射源の位置を地図上に表示することができる



satID®

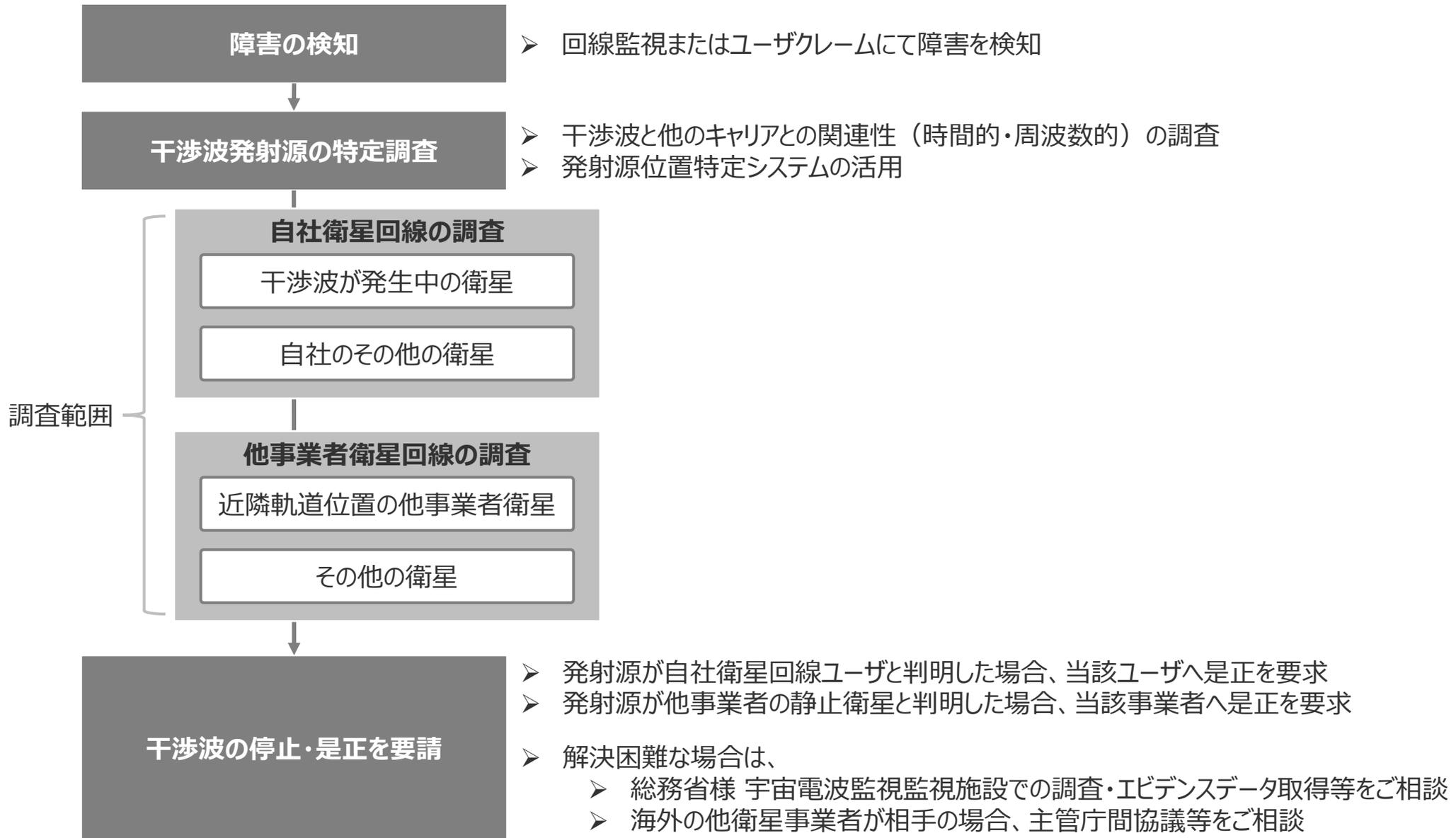


干渉には様々な原因が考えられ、意図せず不要な電波発射が発生することもある



干渉問題の解決は電波監視における重要な業務の一つ

干渉波発生時の障害対応（静止衛星の電波監視における一般的な流れ）



非静止衛星システムの国内周波数分配状況



総務省 電波利用ポータル | 周波数割当て | 「周波数割当計画」(pdf形式、令和7年4月1日現在)

<https://www.tele.soumu.go.jp/j/adm/freq/search/share/plan.htm>

例として、12.2 - 12.5 GHz, 12.5- 12.75 GHzを抜粋

	国内分配	無線局の目的	周波数の使用に関する条件
12.2 - 12.5 GHz	固定	電気通信業務用 公共業務用 一般業務用	
	固定衛星 (宇宙から地球) J231 J234	電気通信業務用 公共業務用 放送事業用	放送事業用での使用は、衛星補助放送の放送番組中継用とする。
	移動衛星 (宇宙から地球)	電気通信業務用 公共業務用	
	放送衛星 J78	電気通信業務用 放送用	
	放送衛星 J18	放送用	
12.5 - 12.75 GHz	固定衛星 (宇宙から地球) J231	電気通信業務用 公共業務用	
	移動衛星 (宇宙から地球)		
	放送衛星 J78	電気通信業務用 放送用	
	放送衛星 J18	放送用	

国内で非静止衛星通信システムに割り当てられている周波数の例

J231

固定衛星業務の非静止衛星システムによる10.95-11.2GHz(宇宙から地球)、11.45-11.7GHz(宇宙から地球)、12.2-12.75GHz(宇宙から地球)、13.75-14.5GHz(地球から宇宙)、17.3-17.7GHz(宇宙から地球)、17.8-18.6GHz(宇宙から地球)、19.7-20.2GHz(宇宙から地球)、27.5-28.6GHz(地球から宇宙)及び29.5-30GHz(地球から宇宙)の使用は、固定衛星業務の他の非静止衛星システムとの調整のため、無線通信規則第9.12号の規定に従うことを条件とする。固定衛星業務の非静止衛星システムは、固定衛星業務の非静止衛星システムのための完全な調整情報又は通告情報のいずれか及び静止衛星網のための完全な調整情報又は通告情報のいずれかの無線通信局による受領の日にかかわらず、無線通信規則に従って運用する固定衛星業務の静止衛星通信網からの保護を求めてはならず、かつ、無線通信規則第5.43A号は適用されない。これらの周波数帯における固定衛星業務の非静止衛星システムは、その運用中に生じる可能性がある許容できないかなる混信をも迅速に除去できるような方法で運用されなければならない。



- 電波干渉は様々な要因で発生する。干渉問題の解決は、電波法令遵守、安定的な回線品質維持の観点で重要であり、そのためには電波監視により調査・発射源特定に必要なエビデンスデータが得られる体制を構築しておく必要がある。
- メガコンステを用いた非静止衛星通信システムの日本国内への参入に伴い、非静止衛星通信システムによる静止衛星通信網への干渉の発生が懸念される状況となっている。
- 当社の静止衛星通信網に非静止衛星通信システム起因の可能性がある干渉が観測された場合、現在の障害対応体制と同様に総務省様において干渉源の調査及び主管庁協議等に必要なエビデンスデータの取得・記録ができるシステムの導入及び体制の整備をご検討いただく事を要望いたします。